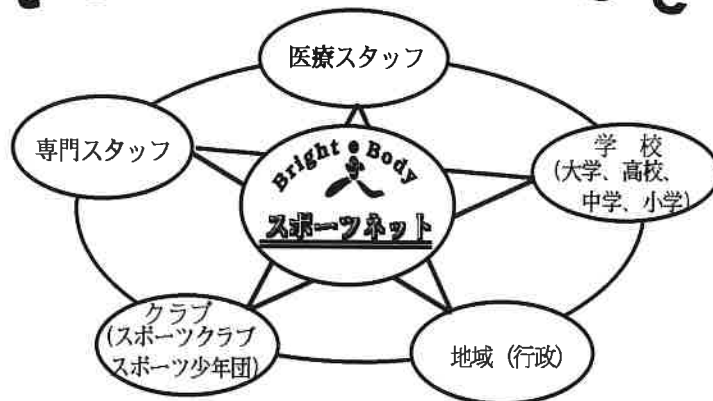


# ～懇親会～ Sports Net Meeting



晩秋の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。早いもので今年も残すところわずかになってまいりました。さて、今年最後のスポーツネットミーティングは毎年恒例になりました懇親会を開催したいと思います。みなさんと一緒に楽しく食事をしながら、選手、指導者、医療、トレーナーという枠組みだけでなく、競技や年齢を越えた交流の場にしたいと考えております。お忙しくて毎月1回のスポーツネットミーティングに参加できない方や初めて参加の方も、この機会に是非ご参加くださいます様、スタッフ一同お待ちしております。

日 時： 平成19年12月3日 (月) 午後7時～午後9時

場 所：京都駅ビル 京都劇場2Fエントランス内 『ITALICO』

電話 (075) 365-3363

対 象：スポーツ指導者及び関係者

定 員：30名

参加費：6,000円

主 催：Bright Body ACTIVE HEALTH 研究所

申込み方法：裏面の申し込み欄にご記入の上、FAX、メール又は電話にてお申し込みください。

申込み締切り日：平成19年11月30日

会場案内：下京区烏丸通塩小路下ル東塩小路町901

申込先：Bright Body  
ACTIVE HEALTH 研究所  
代表 中田佳和

〒611-0014

京都府宇治市明星町4丁目2-1  
TEL・FAX: 0774-24-3644  
e-mail: y-nakata@fa2.so-net.ne.jp

次回の開催予定：平成20年1月13日 (日)

「スポーツネットミーティング2008～現場で学ぶ選手とのコミュニケーション～」

今回で3回目となりますセミナーを開催します。今回も各界スポーツ選手・専門家をお招きし、みなさんと交流できたらと思います。多数のご参加を宜しく願います。

# ミーティングリポート

## <スポーツネットミーティング>

前回のスポーツネットミーティングは、アメリカメジャーリーグで今シーズンワシントンナショナルズのトレーナーをされていた高島誠氏に「アメリカメジャーリーグの現状」というテーマでお話しして頂きました。

### — 前回の主な内容 —

#### <<メジャーリーグの現状>>

アメリカメジャーリーグでは ATC (全米公認アスレティックトレーナー) がチームに 2 人ずついることが義務付けられています。それに対し日本では、治療家の方がトレーナーをされていることが多いようです。アメリカでは、トレーニングや怪我をしてからの流れ、治療やストレッチなど全てがマニュアルに沿って行われます。それに対し日本の場合は、治療家の方が選手に合わせて治療や現場でのリハビリ、競技の動きに合わせて選手を仕上げるのところまで求められています。またアメリカはハード面にお金をかけることができるので、施設、設備が日本よりも充実しています。



今回は参加者からの質問に対し、高島氏に答えていただきながらメジャーリーグの現状についてお聞きしました。

**Q.メジャーリーグの選手は自分の体のケアをするイメージがないのですがどうなのでしょう？(整形外科医)**

**A.**アメリカの選手はすごく適当な人が多いですが、もともと膝や股関節の硬さを持っていることあるかもしれません。ラテン系の選手は膝も股関節も柔らかいので、硬くなることを嫌います。ですから、「これをやったらいいよ」などと提案すると、アメリカの選手よりは理解があります。また、意志の弱い選手が多いので、契約に体重制限があるような選手はパーソナルシェフやパーソナルトレーナーをつける場合もあります。

**Q.メジャーリーグでドーピング検査は行われているのでしょうか？(中学野球指導者)**

**A.**あります。週に2回活躍している選手を選んで、メジャーリーグ機構が行います。薬はドクターの処方したものを使用し、サプリメント等はメジャーリーグ公認のものしか推奨しないので、ドーピングに関してはあくまで個人の責任というのがアメリカの考え方で、チームやトレーナーは責任を問われません。

#### <<参加者によるディスカッション>>

後半の時間は、参加者同士で、日ごろ感じていることや疑問についてディスカッション形式で行ないました。

**(理学療法士→中学野球指導者)**

学校クラブの指導者はどのタイミングで病院にいかせていますか？病院に受診した選手で怪我の度合いが違うので指導者での目安があるのですか？

**(中学野球指導者→理学療法士)**

指導者が選手の性格や状態を見て判断します。また先生から親に病院に行かせるように話すこともあります。肘や肩など関節に痛みを訴える場合はすぐ病院に行かせています。

**(整形外科医→中学野球指導者、理学療法士)**

現場でのメディカルチェックをすると肘や肩が痛くなくてもなかなか言い出せない選手もいるようです。親やコーチも知らないといった場合もあります。痛いときは痛いと言える環境づくりも必要だと思います。ですが、病院に行って大丈夫だと言われたのにも関わらず、また痛みが出てきたと言ってくる選手もいます。

**(トレーナー→中学野球指導者、整形外科医)**

選手の中には整形外科と接骨院、鍼灸院を混同していることがあるのでこちらから指示してあげなければなりません。

**(トレーナー→整形外科医、理学療法士)**

セカンドオピニオンを受ける際、いろんな病院を回って「やってもいい」という病院を探す親もいるので注意が必要です。

参加者で一選手に対しての各専門分野での持って行き方など非常に良い話し合いができました。今後もこのネットワークで交流をしていきたいと思ひます。

参加者：整形外科医1名、理学療法士7名、中学野球指導者1名、地域運動指導者3名、トレーナー3名、学生1名 合計16名

..... <<懇親会お申込書>> .....

懇親会に参加申し込みます。

御芳名		所属先	学校名(会社名)	クラブ名
御連絡先				
参加人数	名 (同伴の方のお名前)			

メール (y-nakata@fa2.so-net.ne.jp) 又は FAX にて 11月30日(金)迄にご返送下さい。